

令和5年度ひらつか市民活動センター運営業務委託年次報告書

1 実施業務

ひらつか市民活動センターの設置及び管理等に関する条例及び施行規則に基づき、ひらつか市民活動センター（以下、「センター」という。）の管理等に関する業務全般を行った。

主な実施業務は次のとおり。

（１）市民活動推進のための施設及び設備を利用に供すること。

ア センターを利用するものの利用承認に関する業務

【新規登録件数】

市民活動団体	5 団体
一般団体	7 団体
新規団体登録合計	12 団体

イ センターの会議室、特定設備及びレターケース等の利用承認に関する業務

【会議室等利用状況】

項目	区分	2023(R5)年度				2022(R4)年度				前年差	増減率
		午前	午後	夜間	全体	午前	午後	夜間	全体		
団体数	会議室	833	866	650	2,349	813	878	586	2,277	72	103.2%
	MTG	658	857	271	1,786	556	716	181	1,453	333	122.9%
	情報	47	48	18	113	52	78	15	145	▲ 32	77.9%
	作業	134	109	15	258	144	135	20	299	▲ 41	86.3%
	合計	1,672	1,880	954	4,506	1,565	1,807	802	4,174	332	108.0%
利用人数	会議室	9,065	9,617	5,284	23,966	7,294	8,052	4,865	20,211	3,755	118.6%
	MTG	2,881	3,318	833	7,032	2,004	2,406	694	5,104	1,928	137.8%
	情報	58	57	21	136	59	89	16	164	▲ 28	82.9%
	作業	337	197	18	552	385	244	24	653	▲ 102	84.5%
	キッズ	26	16	1	43	24		7	31	12	138.7%
	合計	12,367	13,205	6,157	31,729	9,766	10,791	5,606	26,163	5,566	121.3%

【会議室の稼働率】

年度	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	通期
2023年度	71.1%	78.9%	86.7%	74.3%	77.8%	76.6%	79.0%	78.9%	75.0%
2022年度	71.6%	72.0%	74.2%	69.2%	74.9%	77.4%	79.1%	74.5%	73.0%

<施設利用状況の概況>

新型コロナウイルス感染症が5類に移行になり団体の活動も平常時に戻った。センターの利用も団体数・利用人数ともに増加した。

- ・通期：前年度比、団体数は108.0%、利用人数121.3%の伸び率
 - ・第一四半期：前年度比、団体利用数は117.7%、利用人数109.1%の伸び率
 - ・第二四半期：前年度比、団体利用数は90.4%、利用人数132.2%の伸び率
 - ・第三四半期：前年度比、団体利用数は119.1%、利用人数136.0%の伸び率
 - ・第四四半期：前年度比、団体利用数は100.0%、利用人数107.6%の伸び率
 - ・会議室の時間帯別稼働率は、午前79.4%、午後83.2%、夜間62.3%と、午後の時間帯の利用が高くなっている（全体75.0%）。（稼働率目標値は80%以上）
- （参考）前年度稼働率：午前78.1%、午後84.8%、夜間56.1%、上期計73.0%。
- ・会議室の利用については、市民活動団体登録318団体のうち156団体（49.1%）一般団体登録138団体中39団体（22.4%）が1回以上利用した。

【特定設備利用件数】

ロッカー小・小別	40 個／40 個
ロッカー大	18 個／18 個

【レターケース利用件数】

レターケース	72 個／81 個
--------	-----------

ウ センターを利用するものが、センターに設置する印刷機、複写機及びプリンターを使用した場合の使用料、並びに、たすけ愛文庫等の寄附金の収納（徴収）業務

【実施実績】 毎月提出済み

【収納額】

	印刷機	複写機（コピー機）	プリンター	たすけ愛文庫等の寄附金
4 月	19,000 円	30,780 円	1,280 円	28,880 円
5 月	17,620 円	10,040 円	330 円	11,630 円
6 月	19,510 円	12,960 円	0 円	9,930 円
7 月	17,180 円	9,360 円	830 円	5,355 円
8 月	10,100 円	8,890 円	550 円	9,850 円
9 月	22,620 円	15,790 円	910 円	9,600 円
10 月	12,920 円	9,850 円	3,190 円	30,771 円
11 月	14,150 円	11,290 円	560 円	16,088 円
12 月	20,410 円	9,410 円	1,800 円	6,450 円
1 月	17,490 円	9,160 円	3,440 円	10,580 円

2 月	8,260 円	9,120 円	400 円	11,950 円
3 月	13,820 円	15,970 円	1,170 円	29,797 円
通期	193,080 円	152,620 円	14,460 円	180,881 円

(2) 市民活動に関する情報を収集し、及び提供すること。

ア ホームページ・メールマガジン・SNS等による情報発信

- 【ホームページ】①トピックス（センターの開館及び会議室の利用状況に関する情報、市民向け講座等の情報、平塚市情報等の掲載）
 ②イベント情報（市民活動団体イベント情報）
 ③助成金情報
 ④ボランティア情報
 ⑤イベント開催レポート（センター主催事業の報告等）
 ⑥ひらつかの風（適宜）

※ひらつか市民活動センターWeb サイト アクセス状況

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 までの前年比

▼ページビュー数（期間中に閲覧されたページの数）

今期：129,783 回 1日あたり：354.60人ページ（UA・GA4 計測）

前期：148,308 回 1日あたり：406.32 ページ（UA 計測）

▼ユーザー数（期間中にサイトに訪れた人数）

今期：43,533人 1日あたり：118.94人（UA・GA4 計測）

前期：46,501人 1日あたり：127.40人（UA 計測）

【メールマガジン】毎月 10 日発行（R5 年度 4 月～R6 年度 3 月まで 12 回発行）

（232 号/3 月発行） 登録数：397 名

【SNS等による】別紙「ソーシャルメディア利用申請書」のとおり。

▼Facebook：フォロワー345 人、「いいね！」314 件

（参考：令和 5 年 9 月末 331 人、「いいね！」308 件）

▼YouTube：登録者数 82 人（参考：令和 5 年 9 月末 64 人）

イ 情報紙の発行（年 6 回／隔月発行）

【ひらつかの風（情報紙）発行】

別紙「ひらつかの風第 32、33、34、35、36、37 号」のとおり。

第 32 号	5 月 15 日発行	第 35 号	11 月 15 日発行
第 33 号	7 月 15 日発行	第 36 号	1 月 15 日発行
第 34 号	9 月 15 日発行	第 37 号	3 月 15 日発行

ウ ボランティア情報紙の発行（年 1 回）

【ひらつかの空（ボランティア情報紙）発行進捗状況】

実施内容	実施日
掲載団体募集	5月16日（月）～7月31日（月）
掲載確定（41団体）＊先着35団体	
若者による取材	7月19日（水）～8月26日（土）
改訂版発行	11月15日発行

（３）市民活動に関する調査及び研究を行うこと。

ア センターを利用するものへのアンケート調査（結果の分析を含む）（年１回）

- ・アンケート調査期間：11月15日（水）～12月22日（金）
- ・回収状況：配布数364、回収数132、回収率36.3%
- ・アンケート調査報告書：3月15日発行 別紙のとおり

（４）市民活動に関する相談を行うこと。

ア 市民等からの次の相談を行い、相談記録を作成すること。

【相談記録】 別紙のとおり

【相談件数】

相談件数	190件
（内、専門相談）	93件/190件

【相談内訳】

項目	2023（R5）年度				2022（R4）年度				前年差
	市民活動	一般団体	その他	全体	市民活動	一般団体	その他	全体	
ボランティア関連			6	6			14	14	▲8
市民活動団体を知りたい	1		15	16	3		16	19	▲3
センター登録関係	5		9	14			5	5	9
団体を作りたい	2		10	12			3	3	9
NPO法人を設立したい	1		5	6	1		2	3	3
助成金に関する	3		6	9	7		1	8	1
組織運営に関する(運営・会計・広報等)	25		8	33	18	1	8	27	6
協働に関する	2		1	3			1	1	2
その他	20	2	35	57	28	3	29	60	▲3
団体登録に関する相談			17	17			24	24	▲7
フォロー	10		7	17	56		11	67	▲50
合計	69	2	119	190	113	4	114	231	▲41

【専門相談】

項目	2023 (R5) 年度	2022 (R4) 年度	前年差
団体運営	4	2	2
法人設立	9	3	6
助成金	9	6	3
広報・デザイン			
会計・税務	23	21	2
連携・協働	3		3
情報発信			
寄付促進			
その他	31	19	12
フォロー	14	40	▲ 26
全体	93	91	2

(5) 市民活動に関する学習の機会及び市民活動を行うものの相互交流の機会を提供すること。

ア 市民等向け講座の実施（年7回）

【市民向け講座 7回実施】

講座名・講師等	実施日	参加者数
協働事業相談会 ・相談員 坂田美保子 (NPO 法人湘南 NPO サポートセンター)	4月1日(土) ①10:00~10:55 ②11:00~11:55	2団体・2名
地域の居場所のつくり方 講座 ・基調講演 米田佐知子氏 (子どもの未来サポートオフィス) ・事例紹介 川口貞子氏 (地域のお茶の間研究所さろんどて) 高橋亜依子氏 (ひばり野のなかま達)	7月15日(土) 14:00~16:30	6団体・8人 個人・18人 スタッフ・3人 合計・29人
助成金申請講座 ・講師 坂田美保子 (NPO 法人湘南 NPO サポートセンター) ・事例紹介 大野文氏 (子ども学習支援グループ須賀の寺子屋) ・助成事業の説明 菅野希栄氏・戸町彩乃氏 (日本郵政(株)南関東支社) 清水宏文氏 (平塚市協働推進課)	9月16日(土) 14:00~16:30	8団体・10人 スタッフ3人 合計・13人

防災座談会～誰も取りこぼさない共生社会に向けて～ ・講師 認定 NPO 法人かながわ 3 1 1 ネットワーク伊藤朋子代表理事	9 月 30 日（金） 14:00～16:30	8 団体・16 人 個人・9 人 スタッフ・4 人 合計・29 人
協働研修会（協働推進課共催） ・講師 長浜洋二氏（モジョコンサルティング 合同会社代表）	11 月 16 日（木） 9:30～11:30	職員 19 人 団体 17 人 合計・36 人
NPO・企業・大学とのパートナーシップミーティング 事例紹介 平塚信用金庫・東光院 ・一社）あそびの庭	令和 6 年 1 月 24 日 14:00～17:00	神奈川県・平塚市・大磯町・二宮町との連携により協働開催
NPO 法人の設立・運営講座 ・講師 坂田美保子（NPO 法人湘南 NPO サポートセンター）	2 月 24 日（土） 13:30～16:30	4 団体・5 人 個人・3 人 スタッフ・1 人 講師/事務局・3 人 合計・12 人

イ センターを利用するもの同士の交流会の実施（年 1 回）

【市民と NPO のマッチング交流会】

実施日	参加者数	実施内容
3 月 23 日（土） 13:30～16:30	10 団体・12 名 個人・9 名	・マッチング件数 5 件（3 団体・5 人） ・団体向け説明会の開催 ① 2 月 19 日（月）1 団体 ② 2 月 20 日（火）2 団体 ③ 2 月 24 日（土）3 団体

ウ 市民活動の普及のためのイベントの実施（年 1 回→2 回）

【ひらつか市民活動センターまつりの進捗状況】

実施内容	実施日	参加者数	決定事項
実行委員会発足	6 月 16 日（金）	13 団体・14 人	
第 1 回実行委員会	6 月 16 日（金） 18:00～19:30	9 団体・9 人 協働推進課・2 人 スタッフ・4 人 合計・15 人	*実行委員長、副実行委員長の選任。 *開催日時、参加団体数、委員会日程の確認。

第2回実行委員会	7月20日(木) 18:00~19:30	12団体・13人 協働推進課・3人 スタッフ・5人 合計・21人	*出展団体募集状況 *メイン企画、子ども向け企画。 *寄附金募集提案 *チラシ大賞
第3回実行委員会	8月17日(木) 18:00~19:30	11団体・12人 協働推進課・2人 スタッフ・4人 合計・18人	*参加団体確定(55団体) *会場レイアウト *実行委員協力企画 *今後のスケジュール
第4回実行委員会	9月15日(金) 18:00~19:30	10団体・11人 協働推進課・2人 スタッフ・5人 合計・20人	*会場レイアウト、備品の確認 *出展団体全体説明会 *缶バッジづくり日程 *ぬり絵・寄附金依頼
缶バッジ作り	9月22日(金)		まつり企画景品 1000個作成
第5回実行委員会	10月20日(金) 18:00~19:30	12団体・12人 協働推進課・3人 スタッフ・4人 合計・19人	
全体説明会	11月2日(木) 18:00~19:30	50団体・57人 協働推進課・2人 スタッフ・5人 計・64人	
前日準備	11月25日(土) 15:00~17:00		実行委員会・事務局で会場準備他
当日運営	11月26日(日) 8:30~16:30		まつり運営、片付け、参加団体反省会
第6回実行委員会	12月15日(金) 17:00~17:45	11団体・12人 協働推進課・3人 スタッフ・5人 計・20人	*会計監査 *反省会、振り返り
備考	・崇善小学校マーチングバンドによる演奏（オープニング） ・若者ボランティア活動報告会（ひらつかの空完成披露） ・チラシ大賞表彰式 ・市内幼稚園、保育園児によるセンターマスコット「たすけちゃんとあいちゃん」のぬり絵の展示		

	・ひらつか市民活動センター開館 20 年記念アーカイブ展示 ・20 周年に向けた団体からのメッセージ展示(65 団体より)
--	--

【ひらつか市民活動センターまつりの実施】

実施日	参加者数	実施内容
11 月 26 日（日） 10:00～15:00	延べ 2933 名	内訳 団体(関係者含め)：404 人 一般来場者：2529 人 *出展団体：55 団体(応募 58 団体) 展示・販売・相談・パフォーマンス・体験 *ぬり絵：374 枚 *チラシ大賞：19 団体 *若者ボランティア報告：60 人

【新規企画：夏休み こどもわくわくフェスタ 2023】

市民活動・地域活動への新たな担い手育成と市民活動団体のノウハウや専門性の PR を兼ねて実施した。*崇善公民館との共催事業

実施日	参加者数	実施内容
7 月 29 日（土） 10：00～14：00	来場者数：1716 人 出展団体：14 団体 ・ゲスト・2 団体 江陽中学校科学部 UD DANCE SCHOOL	3 月 9 日（木）15：00～16：30 キックオフミーティング 大学生 2 人、スタッフ 3 人 4 月 14 日（金）18：00～19：30 参加団体説明会 12 団体 7 月 28 日（金）15：00～17：00 前日準備 7 月 29 日（土）8：45～16：30 施設全体を活用して開催

エ 特定非営利活動法人の会計・税務相談会の実施（年 1 回）

【会計・税務相談会 1 回実施】

講座名・講師等	実施日	参加者数
会計・税務相談会 徳永、小原税理士	2 月 7 日(水) 18:00～/19:00～	4 団体 10 人 スタッフ 2 人 合計・12 人

（6）市民活動に係る人材の育成を行うこと。

ア 若者のボランティア参加を促進する事業の実施（年 1 回）

【若者のボランティア参加を促進する事業の進捗状況：ボランティア情報誌ひらつかの空】

実施内容	実施日	参加者数	決定事項
①オリエンテーション	6月10日(土) 14:00~16:00	大学生5人、社会人1人、スタッフ3人 合計・9人	①大学生5人、社会人1人で発足。経験者を交え、取材時の心構え等を共有。取材先の選定。
②ボランティア活動・取材			②ボランティア活動体験及び取材、取材後はひらつかの空掲載に向けた原稿の作成
1.NPO 法人ニッポンアクティブライフクラブ	7月19日(水) 14:00~15:00	大学生1人、スタッフ1人 合計・2人	
2.NPO 法人暮らし・つながる森里川海	7月30日(土) 9:00~12:30	大学生2人、スタッフ0人 合計・2人	
3.馬入花畑の会	7月27日(水) 9:00~11:30	大学生2人、スタッフ0人 合計・2人	
4.ひらつか防災まちづくりの会	8月18日(金) 10:00~12:00	大学生2人、スタッフ1人 合計・3人	
5.平塚をみがく会	8月20日(日) 10:00~12:00	大学生2人、スタッフ0人 合計・2人	
6.平塚地区BBS会	8月26日(土) 09:00~12:00	大学生1人、スタッフ1人 合計・2人	③編集会議・校正・印刷・11月下旬発行予定
③取材記事作成	8月22日~ 10月1日まで	6人より取材記事提出有り	④センターまつりにて活動報告
④活動報告会	11月26日(土)		

イ 市民の市民活動参加を促進する事業の実施（年1回）

【市民の市民活動参加を促進する事業 1回実施】

事業名・講師等	実施日	参加者数
市民活動のはじめ方講座 NPO 法人湘南 NPO サポートセンター 坂田理事長	5月27日(土) 13:30~15:30	1団体・1人、個人・10人 スタッフ・3人 合計・14人

(7) その他市民活動の推進に関すること。

ア 市との情報共有（センター運営状況の報告等）（毎月1回）

【市職員を含めたスタッフミーティングの実施12回】

別紙「スタッフミーティング議事録」のとおり。

4月	4月5日(水)	10月	10月5日(木)
5月	5月9日(火)	11月	11月7日(火)
6月	6月5日(月)	12月	12月4日(月)
7月	7月4日(火)	1月	1月10日(水)
8月	8月4日(金)	2月	2月6日(火)
9月	9月6日(水)	3月	3月6日(水)

※ミーティング後

奇数月：ひらつかの風編集会議

偶数月：内部ミーティング(2月は避難誘導訓練のため実施せず)

イ センターの清潔さの維持のための最低限の清掃

【随時実施】

ウ その他、市が参加を必要とした関係機関等のイベントなどへの参加（1～3回を想定）

【4月29日(土) 平塚市緑化まつり出展】

【10月14日(土) TOKAI グローカルフェスタ出展：東海大学湘南校舎】

【10月22日(日) 日産車体遊人びあ出展、NPO 法人フードバンク湘南へ声がけ出展】

2 業務内容を履行するための要件に対する対応

(1) 常時2名をセンターに配置すること。

ただし、業務内容に応じて必要最小限の範囲で増員可能とする。

- ・常時2名をセンターに配置し、業務内容に応じ増員をした
- ・湘南ひらつか七夕まつり開催に伴い、令和5年7月5日(水)午前9時から7月10日(月)17時までの期間を休館とした。

(2) ひらつか市民活動センターのホームページを管理・運営すること。

なお、市と協議のうえ、市民の利便性向上に努めること。

- ・適切にひらつか市民活動センターのホームページを管理・運営した。
- ・市民活動団体情報ファイルを団体自身が編集できるように改修した。

(3) センターは、平塚市立崇善公民館との複合施設であるため、同館との連携・調整をすること。

【相互利用実績】

崇善公民館→センター		通期
団体数	2023年度	45
	2022年度	38
利用人数	2023年度	516
	2022年度	202
センター→崇善公民館		通期
団体数	2023年度	160
	2022年度	182
利用人数	2023年度	1,234
	2022年度	1,346

(4) 必要に応じて関係機関や専門家等との連携・調整をすること。

※関係機関とは、公共団体、教育機関、他センター、社会福祉協議会、法人などをいう。

【関係機関や専門家との連携実績】

関係機関名・専門家	実施日	連携・調整内容
神奈川県ボランティア基金 21 団体成長支援事業 主催:NPO 法人森ノオト パブリックリレーションズ・サ ポートプログラム	8月3日(木) 13:00~16:00 11月1日(水) 13:00~16:00 2月16日(金) 13:00~16:00	広報力を高めたい団体(エントリー 10団体)の伴走支援プログラム 《アドバイザーとして協力》 ・横浜市民協働センター ・かわさき市民活動センター ・ひらつか市民活動センター
神奈川県「NPO・企業・大学と のパートナーシップミーティ ング事業」	令和6年1月24日 14:00~17:00	神奈川県・平塚市・大磯町・二宮町と の連携によって協働開催する。 *契約:湘南NPOサポートセンター
平塚市社会福祉協議会との連 携	ボランティア情報、活動団体の情報提供、防災連携等 適宜情報交換を行った。	
包括支援センターゆりのきと の連携	地域福祉に関する情報の共有、相談内容(個人情報省く) の共有など、適宜情報交換を行った。	
崇善公民館、崇善地区自治会連 合会との連携	崇善公民館との連携による会議室の相互利用、事業の共同 開催、協力。崇自連との情報交換、地域課題の共有適宜	
神奈川県内の支援センターと の連携	神奈川県主催のCEOミーティングの他、各支援センター間 で必要に応じて情報交換を実施した。	

3 事業総括

【自由記述】

(1) センター登録団体の概況

2024年3月末時点でのひらつか市民活動センターへの団体登録数は、市民活動 317 団体、一般 139 団体、合計 456 団体となっている。

(2022 年度末比で市民活動は (+1) 一般団体は (+7) 合計 8 団体の増加)

市民活動団体の活動分野 20 分野のうち市民活動センターには 18 分野の団体が登録されており、その中でも、保険、医療及び福祉の増進関連 91 団体(28.4%)、次いで学術、文化、芸術又はスポーツの振興関連 56 団体(17.6%)、子どもの健全育成 44 団体 (13.8%) の 3 分野で全体の 60.3%を占めている。

(2) 委託契約書による事業の進捗状況

契約書の内容に従い、市民向け講座など各事業、定期刊行物発行、協働推進課との定期的な情報共有等々、年間を通じて遅滞なく履行できた。

(3) 人材育成（スタッフ研修）

① 相談窓口研修：かながわ県民活動サポートセンター

8月15日、8月24日、9月22日全3回各1名ずつ計3名

② NPO と行政の対話フォーラム

8月31日（木）：2名参加

全国の市町村職員及び中間支援組織（NPO 等）総勢 80 名ほどが参加

行政と NPO をはじめとする多様な主体が協働して取り組む、「誰も取り残さない地域づくり」をテーマに各地の事例を共有した。

③ センター主催講座及び事業への参加

NPO 法人の設立講座、子どもわくわくフェスタ、防災座談会等、団体と共に参加し学ぶことで団体の現状把握、相談力向上に努めた。

(4) NPO/市民活動団体の高齢化・事業継承、コロナ 5 類以降での活動状況、若者やシニア世代の市民活動・ボランティア活動への普及について

①毎年実施している市民活動団体へのアンケート結果を概観すると、a.人材不足 b.後継者がいない c.情報発信力が弱い「現在の課題」として全体の 65.2%を占めている。これは本年度に限ったことではなく、数年来この傾向は変化していない。

コロナ禍を境に団体活動の見直し等が図られ、主に後継者・高齢化問題により団体登録の削除または解散などにシフトしていく一方、国内の共通課題である「ひきこもり・不登校支援」「子ども支援」等を主な活動目的としている団体へのニーズは上昇傾向にある。

② 若い人のボランティア活動について

(参考)「全国学生 1 万人アンケート」～ボランティアに関する意識調査 2023～

- ・実施機関：日本財団ボランティアセンター
- ・調査時期：2023 年 10 月 6 日から 11 日まで
- ・調査対象：18 歳～26 歳の大学生、大学院生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生。高校生は除外。
- ・回答者数：10,519 人からランダムサンプリングにて 10,000 人に調整。

■過去 1 年間にボランティアに参加した学生は 24.7%で、2017 年調査結果 と大きな変動がないため、学生のボランティア実施率は、コロナ禍以前の状態に戻っている。(他の調査研究からも明らか)

■過去 1 年間にボランティアに参加していない学生も、57.5%が今後のボランティア参加を希望しており、参加への意欲は高い。

■ガクチカ（学生時代に最も力をいれていること/入れたこと）でボランティアを選択した学生（全体の 2.5%）のうち、8 割以上が既にボランティア活動を実施している。

■「ボランティアへの興味や参加経験」があるほど、幸福度が高い傾向にある。

以上のことから、若い人がボランティア活動に参加するきっかけや提供できる活動の場を継続的につくっていくことが求められると言える。しかしながら、交通アクセスや活動費の不足、高齢化、人的資源の不足など市民活動団体にとっても解決しなければならない課題が山積しており、市及び関係諸団体の理解や支援も同時に不可欠である。

③ シニア世代のボランティア活動や市民活動の普及について

内閣府の高齢社会白書（2018 年）によると 60 歳～69 歳の約 7 割、70 歳以上の約 5 割弱が働いているか、またはボランティア活動、地域社会活動（町内会、地域行事など）、趣味やおけいこ事を行っているという結果が出ている。シニアにボランティアがおすすめな理由として、①生きがいにつながる ②人との繋がりをもてる ③健康維持の助けにもなるの 3 つが挙げられている。実際、市民活動を行っている団体の方々は快活で元気な方が多く、ボランティア活動の有効性を伝えていくことも必要である。

*市民生活はコロナ禍前の日常に戻りつつあるが、社会環境の変化により地域の課題はより深刻に複雑化しており、行政だけで解決することはもはや難しく、企業・大学・NPO 等との連携・協働、パートナーシップが益々求められる時代となっていることは既に周知の通りである。連携・協働を促進するためには待ちの姿勢ではなく攻めの姿勢が必要である。現在の市民活動センターの施設管理運営ではできることが限られているため、市及び市民活動推進委員会等々で一步深めた議論が展開されることを希望する。

以上